

■斎藤博 外交官。国際的外交手腕評価され、日米関係改善に尽力して客死、米側は遺骨を軍艦アストリア号で護送した。
さいとうひろし
帝国大学始・1886＝ 外務省主任翻訳官斎藤祥三郎の長男として新潟に生まれる。

帝国憲法発布1889＝ 3歳：

日清戦争始・1894＝ 8歳：
日清戦争終・1895＝ 9歳：

日露戦争始・1904＝18歳：
日露戦争終・1905＝19歳：

韓国併合・・1910＝24歳： 外交官領事官試験に合格し、外交官補として、
大逆事件判決1911＝25歳： 米国に勤務、
明治天皇没・1912＝26歳：
大正政変・・1913＝27歳：

省内外の秀才ぶりを随処に発揮し、

本格政党内閣1918＝32歳： 書記官として英国に在動し、
ベルサイユ条約・1919＝33歳： 第一次世界大戦後のパリ平和会議(新聞啓発係)をはじめ、

原敬首相暗殺1921＝35歳： シアトル領事、
水平社結成・1922＝36歳： *ワシントン会議(全権秘書)、
関東大震災・1923＝37歳： ニューヨーク総領事となり、

世界恐慌・・1929＝43歳： 帰国して情報部長に就任し、本省の枢機に参画した。
海軍軍縮条約1930＝44歳： *第1次ロンドン海軍軍縮会議(外交部長)、
満州事変・・1931＝45歳：
五一五事件・1932＝46歳： 大使館参事官として米国在勤を発令され、
国際連盟脱退1933＝47歳： 在蘭公使に昇任、 *駐米特命全権大使に就任した。

国際連盟各機関での活躍にも多くの挿話を残し、

日中戦争始・1937＝51歳： 日中戦争開始後、多難となった日米関係の調整に努め、
パネー号事件では訓令をまたず全米中継放送で米国民に訴える英断を示したが、
第二次大戦始1939＝53歳： *生来の蒲柳の質に辛労が重なり、没した。米側はその遺骨を軍艦アストリア号で護送し、本国外務省は築地本願寺で省葬をとり行なった。